

科目の種類	必修	科目名	現代文	学年	3	単位数	2
コース	理系進学コース						
教科書	教育出版「精選現代文」						
副教材	浜島書店「最新国語便覧」・「国語辞典」(小辞典を除く)						
科目のねらい <ul style="list-style-type: none"> ・ 評論・小説などを通して、言葉や文章の理解力・読解力の向上を目指します。主に、日本の近・現代の歴史や文化・文明について述べられている作品を取り上げ、小論文の基礎知識として活用できるようになることもねらいとします。 ・ 漢字練習の反復により、語彙力・漢字力の向上を目指します。 ・ 模試の解説などを通して、大学入試センター試験レベル以上に対応できる学力をつけることを目指します。 							
授業の進め方 <ul style="list-style-type: none"> ・ 評論文の読解を通じて、論理的思考や構成について学習をすすめます。 ・ ジャンルを問わず、客観的に文章を捉え、読んでいく姿勢を身につけます。 ・ 授業の進度および状況に応じて問題演習の時間を取ります。決められた時間内で論理的かつスピーディーに文章を読解していく練習を行います。 ・ 適宜プリント等の副教材を使用し、できるだけわかりやすく進めていきます。配布された教材は各自できちんと保管しておいてください。 ・ 入試問題、過去問題などに取り組み、既習事項の定着を確認するとともに、より実践的な力と応用力を身につけます。 							
より良く学習を進めるためのアドバイス <ul style="list-style-type: none"> ・ 文章を読み解く上で大事なものは語彙力です。わからない漢字や語句は反復練習をして覚えるようにしましょう。 ・ 音読は重要です。教科書の文章は声に出してはっきりと読むよう心掛けましょう。 ・ 定期試験、実力テスト、模擬試験を受けた後は必ず復習するように努めましょう。 ・ ノートやプリント課題等をしっかりと整理し、効率の良い勉強ができるよう心掛けましょう 							
評価方法 テストについて <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期テストの得点と小テストおよび提出物などによる得点を加味して総合的に判断します。 							
評価方法 テストについて <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期テストの得点と小テストおよび提出物などによる得点を加味して総合的に判断します。 							

	学習単元	単元の内容とねらい
前期	随筆 (p.14) 「同情トイフコト」 (大江健三郎) 詩 (p.114) 「樹下の二人」(高村光太郎)	ノーベル賞作家の優れた随筆に触れることで、随筆の特徴的な表現方法を理解し、読解力を養います。 ・具体的な日常から、いかに普遍的な思考を引き出しているかを、論理的にたどりながら読み取っていきます。 ・「同情」と想像力の関係について考察します。 日本の優れた近代詩に接し、その特徴・魅力について考えます。 ・創り上げられた言説空間を具体的にイメージし、感じ取ることを通して、詩的表現に対する鑑賞力を高めます。 ・自分にとって心惹かれる詩的表現とはどのようなものかを考えます。 ・文学史上の重要事項について確認します。
	第 1 回	定期考査
後期	小説 (p.260) 「舞姫」(森 鷗外)	小説の読み方、味わい方についてまとめます。 ・近代文学がその出発当初に持っていた擬古文に接し、その特徴・魅力について考えます。 ・自我の目覚めの問題や、外圧に抗しきれずに心ならずも自己の本心を偽ったり曲げたりして生きていかざるを得なかった主人公の問題を、現代を生きる我々自身の問題としても捉え、考察を深めていきます。 ・当時の作者・作品の背景について調べ、明治の時代と人間について、認識を深めます。 ・本作品の文学史的な意義と、近代文学の流れを確認します。
	第 2 回	定期考査
後期	評論 (p.248) 「世界地図のイデオロギー」 (西川長夫)	本作品を通して、論理的文章の読解方法のまとめをします。 ・知っている評論用語の数を増やし、小論文や問題演習でも使えるレベルにまで深めていきます。 ・文章を構造的に把握し、それぞれの段落が持っている役割や論理的な展開について把握していきます。 ・筋道立てて文章展開を捉えていくことで、最終的な筆者の主張を読み取ります。 ・文章全体の要旨をまとめる練習をします。 授業を進度を見ながら、応用問題演習をします。
	第 3 回	定期考査
後期	評論 (p.290) 「私の個人主義」	夏目漱石の掲げる問題について、論理展開を追いつつ理解する能力を身につけます。 ・近代日本の状況を踏まえ、比較検討することで、現代日本社会を思考する能力も養います。 ・夏目漱石という文学者についての、評論活動や講演活動について、基礎的な知識を身につけます。 授業を進度を見ながら、応用問題演習をします。
	第 4 回	定期考査
		この後、必要に応じて、大学入試に対応した問題演習(評論を中心とする)を行います。
	学 年	未 考 査

